



「ほっとルーム」だより

第170号 令和4年10月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

子どもに「ありがとう」の気持ちを伝えられる大人は、
感性豊かな子どもを育てられるそうです。

本当に感謝できる人は、自分も感謝されることを経験しているもので、この両方は切り離せないものです。しかし、ある程度意識的に感謝することから始めるのがよいと思います。

子どもが面白い話をしてくれる、この子もこんなに成長してくれたということなどを喜ぶのであり、感謝するのです。大げさなことではなく、与えられた恩恵を感じる事が大切で、ある種の“感性を磨く”ということになるのでしょうか。ちょっとしたそぶりに安らぎや「ありがとう」という気持ちを感じる心を持ちたいものです。

子どもの感性が育つ上で、そういう感性豊かな大人や友達を周りに持つ持たないで、大いに違ってくるそうです。



参考:佐々木 正美著 「子どもが喜ぶことだけすればいい」

親と子のほのぼののエピソード

靴屋さんでのこと。

二歳半の息子に、「新しい靴を買いに行こう」と言うと大喜びして、気に入った靴が見つかった。

その靴を抱えながら、「ママ、どーじょ」と言って私を成人女性の靴売り場に引っ張っていき、適当に持ってきた片方だけの靴三、四足を、私に、はけとでも言うように「ママ、どーじょ」と言い続けていた。

自分だけ買ってもらうのは悪いと思ったのか、私にも気を遣ってくれて、とても感動した。

息子が持ってきてくれた、バラバラの三、四足を一応はいて、「ありがとう、ママは、今は大丈夫」と言ってチューしました。やさしい子に育ってくれてありがとう。

「父は昼はたらき、また、夜はたらき、いつねているのかなあー。からだをこわさないで、がんばってください」

子どもが小学校の低学年の時に、「父の日」によせた作文だ。

父親としてうれしかったし、子どもは常に親を見ているということに、変なことはできないなあ実感した。

明橋 大二著 「子育てハッピーアドバイス」より

家庭教育に関する アンケートへのご協力をお願いします

家庭教育支援事業の充実を図るべく、家庭教育や子育て支援について、保護者の皆様のお考えやご意見をお聞かせいただきたいと思います。

ご多用中とは存じますが、アンケート調査にご協力をよろしくお願い致します。

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124

家庭で育みたい大切なこと

～生福小学校 家庭教育学級「OH～！たちばな学級」～

生福小学校の家庭教育学級「OH～！たちばな学級」は、9月8日（木）に、社会教育課の本車田先生を講師にお招きし、「家庭教育のあり方」について学習しました。

子どもの生活リズム「早寝・早起き・朝ごはん」についてや、適切な支援で子どもに「できる」喜びをあたえること、しつけの大切さ等を話されました。

～しつけで大切な3つのこと～

- ① あいさつ ② 返事 ③ 履物をそろえる

参加されたお母さんたちは、うなずきながら熱心に聴いていらっしゃいました。

「おあしす」を開設しました

生福小学校ではこの日、家庭教育学級終了後、「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」を開設しました。飲み物を飲んで一息つかれてから、家庭教育学級にいらしたお母さん方で、グループを作り、日ごろ困っていることや気になっていること、子どもさんのご家庭での様子等をお話いただきました。お母さん方は、話を聴きながら共感したり、自分の子育てを振り返る様子が伺えました。

私たち支援員は、保護者の皆さんと一緒に集まって子育てについて語り合う機会は、とても貴重な時間だと感じました。PTA前のお時間にお話を聴かせていただき、ありがとうございました。

子育てアドバイス

自立とは、ひとりで何かをすることではありません。

人と共感しあい、協調しあって生きることです。

人間というのは人に受け入れられてから、

人を受け入れられるようになります。

ひとりでなんでもやっている子どもは

孤立です。

自立は、ひとりで
何でもできることでは
ありません



佐々木 正美著 「子どもが喜ぶことだけすればいい」より

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574

☎099-294-2200※携帯電話からはこちら

24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310

PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎099-251-0309